

平成30(2018)年度

学生募集要項

【一般選抜】

インターネット出願

平成30年度学部入試（平成29年度実施）の一般選抜試験を、インターネットによる出願に全面的に移行することにいたしました。

インターネット出願では、インターネットに接続したパソコン等を利用して出願できますので、出願書類を取り寄せる必要はありません。

また、入学検定料は、クレジットカード、コンビニエンスストア、銀行や郵便局のATMで支払うことができます。

公立大学法人 前橋工科大学



Maebashi Institute of Technology

〒371-0816

群馬県前橋市上佐鳥町460番地 1

前橋工科大学 学務課学生係（入試担当）

TEL 027-265-0111（代表）

027-265-7361（学務課直通）

FAX 027-265-3837

E-Mail nyushi@maebashi-it.ac.jp



URL: <http://www.maebashi-it.ac.jp/>

目 次

□ 工学部の入学者受入れの方針、教育課程編成・実施の方針、卒業認定・学位授与の方針……………	1
□ 平成30（2018）年度 入学者選抜における変更点について……………	1
□ 一般選抜関係日程……………	2
I 試験概要……………	3
1. 募集人員	
2. 出願資格	
3. 選抜方法	
4. 学力試験等の配点	
5. 個別学力試験の期日・時間割	
6. 複数受験	
II 出願・手順……………	7
1. 出願方法	
2. 出願期間	
3. 出願手順	
4. 出願書類	
5. 出願先	
6. 入学検定料	
7. 出願手続き上の注意事項	
8. 受験票	
9. 障がい等を有する等の入学志願者との事前相談	
III 受験上の注意事項……………	15
1. 試験場への入退場	
2. 個人的事情による遅刻の扱い	
3. 公共交通機関の遅延による遅刻者の扱い	
4. 所持品	
5. 受験心得	
6. その他	
IV 合格発表……………	17
1. 発表期日	
2. 発表方法	
3. 追加合格等	
4. 情報開示	
V 入学手続……………	19
1. 入学手続	
2. 入学に係る経費	
VI その他……………	20
1. 個人情報の取り扱い	
2. 試験会場	
会場案内図……………	21
□ 各学科の入学者受入れの方針、教育課程編成・実施の方針、卒業認定・学位授与の方針……………	23
・ 一般注意事項	

天候等の理由で試験の実施に変更等がある場合は、本学ホームページに掲載しますので、必ず確認してください。

前橋工科大学工学部の教育ポリシー

○ 前橋工科大学の3つのポリシー（アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー）

本学は、社会環境工学科、建築学科、生命情報学科、システム生体工学科、生物工学科、総合デザイン工学科の6学科から構成される、工学部単科大学である。大学として、入学者受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）、教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）の3つのポリシーを定めている。多様な特色をもつ6学科では、それにしたがって、学科の理念を実現するため、さらに学科ごとに3つのポリシーが定められている。

● 入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

- ・教育課程編成・実施の方針を修得するために必要な、高校課程の基礎的な学力を修めている人
- ・工学に関心を持ち、みずから考え、判断する力を育き、何事にも積極的に挑戦しようと考えている人
- ・発想力、洞察力、コミュニケーション力を修めるため、持続力をもって学ぼうとする人

● 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

- ・卒業認定・学位授与の方針を達成するために必要な、共通教育科目（総合デザイン工学科においては基礎教育科目）、専門教育科目、専門科目（総合デザイン工学科においては専門教育科目）を学修させる
- ・工学教育を特徴づける実験・実習・演習をとおして、課題の解決に必要な知識と方法を修得させ、その結果を論理的に発表する力を身につけさせる
- ・本学での学修に加え、インターンシップなどの学外活動をとおした実社会との交流も促進し、表現力、協調性、倫理性を涵養させる

● 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

- ・本学がめざす自然と人との共生、持続可能な循環型社会の構築に寄与するための幅広い基礎的な学力、工学の知識と技能を修得し、判断力と実行力を有している
- ・みずから課題をみいだすことができ、解決に主体的に取り組み、その成果を発表する能力を備えている
- ・社会との協働に参画し、専門技術者として果たすべき使命と役割を理解し、倫理観や責任感を身につけている

平成30（2018）年度 入学者選抜における変更点について

生物工学科 特別選抜【推薦】・一般選抜【後期日程】における募集人員の変更

⇒募集人員を変更します。

- ・特別選抜【推薦】 4名 ⇒ 6名
- ・一般選抜【後期日程】 10名 ⇒ 8名

前橋工科大学一般選抜関係日程

大学入試センター試験
平成30年1月13日(土)・14日(日)

前期日程

後期日程

出願期間 インターネット出願
平成30年1月22日(月)～1月31日(水)

試験
(学力検査、実技)
平成30年2月25日(日)

試験
(小論文、面接)
平成30年3月12日(月)

合格発表
平成30年3月6日(火)

合格発表
平成30年3月21日(水)

入学手続期限
平成30年3月15日(木)

入学手続期限
平成30年3月27日(火)

I 試験概要

1. 募集人員

学部・学科		入試区分	一般選抜	
			前期日程	後期日程
工学部	社会環境工学科		32名	10名
	建築学科		33名	10名
	生命情報学科		25名	14名
	システム生体工学科		29名	10名
	生物工学科		29名	8名
	総合デザイン工学科		12名	7名
合計			160名	59名

- ◎ 一般選抜の「前期日程」及び「後期日程」は、分離・分割方式の区分によります。
- ◎ 特別選抜の募集要項は、別冊子となっています。

2. 出願資格

平成30年度大学入試センター試験のうち、本学が指定する教科・科目を受験した者で、以下の各号のいずれかに該当する者

- (1) 高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ）を卒業した者及び平成30年3月31日までに卒業見込みの者
- (2) 特別支援学校の高等部又は高等専門学校の3年次を修了した者、及び平成30年3月31日までに修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則第150条第1号から第4号及び第6号の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者、及び平成30年3月31日までにこれに該当する見込みの者
- (4) 高等学校卒業程度認定試験（旧大検）に合格した者、及び平成30年3月31日までに合格見込みの者で、平成30年3月31日までに満18歳に達する者
- (5) 学校教育法施行規則第150条第7号の規定により、本学において個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で平成30年3月31日までに満18歳に達する者
(出願個別の入学資格審査において、出願資格を認定された者は、本学のみ有効なものです。) 本学に入学を希望し、大学入試センター試験に出願しようとする者の申請期間は終了しました。

※ 出願に際し、本学が指定する「大学入試センター試験を受験を要する教科・科目」（4ページ参照）を受験しているかを必ず確認してください。本要項で指定した大学入試センター試験を受験を要する教科・科目を受験していない場合は、出願資格がありませんので十分確認を行ってください。

3. 選抜方法

入学者の選抜は、大学入試センター試験及び本学が実施する個別学力試験等の成績ならびに調査書の内容を総合して行います。

(1) 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目

区分	学部・学科名	教科	科目	教科・科目数	
前期日程・後期日程 (共通)	社会環境工学科	国語 数学 理科 外国語	「国語」 「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ・数学B」 「物理」 「英語・リスニング」	4教科 5科目	
	生命情報学科 システム生体工学科	国語 数学 理科 外国語	「国語」 「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ・数学B」 「物理」、「化学」、「生物」から1科目 「英語・リスニング」	4教科 5科目	
	生物工学科	国語 数学 理科 外国語	「国語」 「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ・数学B」 「物理」、「化学」、「生物」から2科目 「英語・リスニング」	4教科 6科目	
	総合デザイン工学科	数学 国語 数学 理科 外国語	「数学Ⅰ・数学A」 以下の①から⑧のうち2科目を選択 ①「国語」 ②「数学Ⅱ・数学B」 ③「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、 「地学基礎」から2つ ④「物理」 ⑤「化学」 ⑥「生物」 ⑦「地学」 ⑧「英語・リスニング」	2教科 3科目 又は 3教科 3科目	
前期日程	工学	建築学科	国語 数学 理科 外国語	「国語」 「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ・数学B」 「物理」 「英語・リスニング」	4教科 5科目
後期日程	工学部	建築学科	数学 理科 外国語	「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ・数学B」 「物理」 「英語・リスニング」	3教科 4科目

- 1 「国語」は、「近代以降の文章」のみ利用します。
- 2 指定された教科・科目を受験していない場合は、「失格」とします。ただし、リスニングの免除を大学入試センターに申請し、許可された者は失格となりません。
- 3 理科から1科目の選択について、2科目受験している場合は、高得点の科目を採用します。
- 4 総合デザイン工学科の「2科目を選択」については、各科目を100点換算し、8科目のうち高得点のものから2科目を大学側で選択し、採用します。

(2) 個別学力試験の実施教科・科目等

区分	学部・学科名	教科	科目
前期日程	社会環境工学科 建築学科 生命情報学科 システム生体工学科	数学	「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」
	生物工学科	理科	「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」から1科目を選択
	総合デザイン工学科	その他	実技
後期日程	社会環境工学科	その他	面接（物理に関する口頭試問を含む。）
	建築学科	その他	小論文
	生命情報学科	その他	面接
	システム生体工学科	その他	面接
	生物工学科	その他	小論文
	総合デザイン工学科	その他	面接

4. 学力試験等の配点

(1) 前期日程

学科名	学力試験名	国語	数学	理科	外国語	実技	合計
社会環境工学科 建築学科	大学入試センター試験	100	200	100	200	—	600
	個別学力検査	—	200	—	—	—	200
	計	100	400	100	200	—	800
生命情報学科	大学入試センター試験	100	200	100	100	—	500
	個別学力検査	—	200	—	—	—	200
	計	100	400	100	100	—	700
システム生体 工学科	大学入試センター試験	100	200	100	200	—	600
	個別学力検査	—	200	—	—	—	200
	計	100	400	100	200	—	800
生物工学科	大学入試センター試験	100	200	200	200	—	700
	個別学力検査	—	—	200	—	—	200
	計	100	200	400	200	—	900
総合デザイン 工学科	大学入試センター試験	—	100	—	—	—	300
		200（選択教科・科目）				—	—
	個別学力検査	—	—	—	—	100	100
	計	—	100	—	—	100	400
	200（選択教科・科目）				—	—	

(2) 後期日程

学科名	学力試験名	国語	数学	理科	外国語	小論文	面接	合計
社会環境工学科	大学入試センター試験	100	300	200	100	—	—	700
	個別学力検査	—	—	—	—	—	100	100
	計	100	300	200	100	—	100	800
建築学科	大学入試センター試験	—	200	100	100	—	—	400
	個別学力検査	—	—	—	—	100	—	100
	計	—	200	100	100	100	—	500
生命情報学科	大学入試センター試験	100	300	100	100	—	—	600
	個別学力検査	—	—	—	—	—	100	100
	計	100	300	100	100	—	100	700
システム生体工学科	大学入試センター試験	100	200	100	200	—	—	600
	個別学力検査	—	—	—	—	—	100	100
	計	100	200	100	200	—	100	700
生物工学科	大学入試センター試験	100	200	200	200	—	—	700
	個別学力検査	—	—	—	—	200	—	200
	計	100	200	200	200	200	—	900
総合デザイン工学科	大学入試センター試験	—	100	—	—	—	—	300
		200 (選択教科・科目)						
	個別学力検査	—	—	—	—	—	100	100
	計	—	100	—	—	—	100	400
		200 (選択教科・科目)						

※ 前期日程、後期日程ともに、外国語「英語」の配点には、リスニングの成績を含みます。

5. 個別学力試験の期日・時間割

- ・各会場の試験室入室開始時間は、9時00分を予定しています。
- ・受験生は、9時30分までに試験室に入室してください。
- ・前橋会場のみ入室開始までの控室があります。

(1) 前期日程選抜期日 平成30年2月25日(日)

時間	学科名	社会環境工学科 建築学科 生命情報学科 システム生体工学科	生物工学科	総合デザイン工学科
	10:00~12:00 (120分)	数 学	理 科	実 技

(2) 後期日程選抜期日 平成30年3月12日(月)

<table border="1"> <tr> <td>時間</td> <td>10:00～</td> </tr> <tr> <td>学科名</td> <td>面接</td> </tr> </table>	時間	10:00～	学科名	面接	<table border="1"> <tr> <td>時間</td> <td>10:00～12:00 (120分)</td> </tr> <tr> <td>学科名</td> <td>建築学科 生物工学科</td> </tr> </table>	時間	10:00～12:00 (120分)	学科名	建築学科 生物工学科
時間	10:00～								
学科名	面接								
時間	10:00～12:00 (120分)								
学科名	建築学科 生物工学科								
社会環境工学科 生命情報学科 システム生体工学科 総合デザイン工学科	面接								

※ 受験者数により面接試験を受けるまでの待機時間が長くなる場合があります。

6. 複数受験

- (1) 前期日程、後期日程の両日程に出願することができます。
- (2) 本学の前期日程と他の国公立大学・学部(ただし、独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部(※)を除く。以下同じ)の前期日程との併願及び本学の後期日程と他の国公立大学の後期日程との併願はできません。
- (3) 本学の推薦入試又は他の国公立大学・学部の推薦入試若しくはアドミッション・オフィス入試に合格し、入学手続きを行った者は、本学の個別学力試験に出願していても受験することができません。たとえ受験しても無効となります。ただし、推薦入試若しくはアドミッション・オフィス入試の辞退について、当該大学の許可を得た場合はこの限りではありません。

※ 独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部については、公立大学協会ホームページ(URL: <http://www.kodaikyo.org/>)を確認してください。

II 出願・手順

1. 出願方法 <出願はインターネット出願(以下「WEB出願」という。)のみとなります>

出願は、出願期間内にインターネット出願システム(以下「WEB出願システム」という。)により、出願情報等を入力し、入学検定料を納入し、出願書類を簡易書留・速達郵便で郵送することにより完了します。後述の出願書類、入学検定料の納入を熟読し、不備のないように注意してください。なお、両日程に出願する場合は、日程別の封筒を用意し、別々に出願してください。また、受験票の発行及び出願手続きに関する通知は、WEB出願システムを通じて行います。WEB出願システムへ登録したメールアドレスは、合格発表まで常に確認できるようにしてください。

2. 出願期間

インターネット出願期間(日本時間):平成30年1月22日(月)から1月31日(水)17:00までに支払完了してください。

書類送付期限(日本時間):平成30年1月31日(水)通信日付印(消印)有効で「簡易書留・速達」で発送してください。

なお、出願書類の受領確認は電話でお答えすることができません。日本郵便ホームページの追跡サービスで確認してください。

3. 出願手順

出願は以下の手順で行います。

1

出願を始める前に

チェック欄

① パソコン等の確認

パソコンからインターネットを通じて出願を行います。お使いのスマートフォン、タブレット端末では利用できない場合があります。下記の動作環境を満たすパソコン等をご用意ください。ご家庭にパソコン等がない場合も、学校や知人等、下記の動作環境を満たすパソコンを利用できるように確認してください。

◎ パソコンでの出願は次のブラウザをご使用ください。

- ・ Microsoft Internet Explorer 11 以降、・ Microsoft Edge、・ Google Chrome 51 以降
- ・ Mozilla Firefox 50 以降、・ Apple Safari 8 以降

※ブラウザのタブ機能を使用して、複数のタブで同時に申込操作を行いますと、選択した内容が他のタブに引き継がれてしまう等の不具合が発生する場合がございます。複数タブでの同時申込操作はお控えください。

◎ スマートフォン、タブレットでの出願では次の OS をご使用ください。

- ・ iOS 10.2 以降、・ Android 4.4 以降

※各 OS の標準ブラウザが推奨環境となります。

◎ その他必要なソフトウェア条件

- ・ PDF ファイルを閲覧、印刷するには、Adobe Reader 等 が必要となります。

② 印刷できる環境の確認

志願票・写真票、宛名票及び受験票の PDF ファイルを印刷するために、印刷できる環境が必要です。ご家庭にプリンターがない場合も、学校や知人、コンビニエンスストア等印刷できる環境を確認してください。

③ メールアドレスの準備

WEB 出願システムにメールアドレスを登録していただきます。受験終了まで変更や削除の可能性がなく、日常的に確認しやすいメールアドレスをご準備ください。ご登録いただくメールアドレスは、大学から入学試験に関する重要なお知らせが配信されます。ドメイン指定受信をしている場合は、@e-apply.jp からメールが受信できるようにあらかじめ設定してください。メールアドレスをお持ちでない場合は、フリーメールを取得してください。

④ 入学検定料決済方法の確認

クレジットカード、コンビニエンスストア、Pay-easy 利用の銀行等の決済が利用できます。どの決済方法も対象金融機関、金額、手続きに制限や注意事項がありますので、保護者の方と確認して決済方法を決定しておきましょう。クレジットカードで支払う場合は、カードをお手元にご準備ください。



⑤ 顔写真データの準備

<写真プリントの添付や送付の必要はありません>

WEB 出願システム上に、顔写真データをアップロードし、顔写真を登録していただきますので下記を満たす顔写真データを事前にご準備ください。(規格を満たす写真であれば写真店等で撮影したものでなくてもかまいません。)

- ・カラー、白黒問いません。・出願前3カ月以内に撮影した本人の写真であること。
- ・本人のみが写っているもの・正面向き、上半身(胸から上、顔がはっきりわかるもの)、無帽、無背景であること(顔に影がないもの)。
- ・目元輪郭を隠していないこと。
- ・ピントが合っていて、鮮明であること。
- ・画像に加工を施していないこと。
- ・ファイルサイズ等・・・ファイル形式：JPEG，PNG、ファイルサイズ4MB以内、縦320ピクセル、横：240ピクセル以上

※写真店等で撮影する場合は、写真データをJPEG形式で入手することをお勧めします。

※顔写真データは画面上でサイズを調整して登録することができます。顔がはっきり映るよう適宜調整してください。



⑥ その他準備しておいた方がよいもの

次のものをあらかじめお手元に準備しておくと、スムーズに手続きすることができます。

- 大学入試センター試験の受験票
- 大学入試センター試験の成績請求票(国公立大学用の前期日程・後期日程)
- 封筒(市販の角型2号封筒)
- 調査書等



2

WEB 出願システムに登録する

① 前橋工科大学ホームページ (<http://www.maebashi-it.ac.jp/>) にアクセス

② ①より、前橋工科大学「インターネット出願ページ」にアクセス

前橋工科大学「インターネット出願ページ」
<https://e-apply.jp/e/mit/>

③ 必要事項の選択、入力

STEP 1

入試日程(前期日程、後期日程)の選択

出願は、入試日程ごとに、それぞれ行う必要があります。

画面の指示に沿って、選択を行ってください。

※ 前期日程、後期日程とも出願する場合は、各入試日程の入力等が必要となります。

STEP 2

個人情報を入力、登録

画面に沿って、顔写真データの登録後、志望学科を選択し、前期日程は、試験会場を選択し、氏名、住所等を選択・入力し、メールアドレスを入力してください。テストメール送信ボタンを押し、確認メールの受信確認した後、メール確認済み欄にチェックを行い、引き続き、大学入試センター試験成績請求番号等を登録します。

STEP 3

出願内容の確認・申込完了

出願内容を確認の上、「上記内容で申し込みする」ボタンをクリックすると申込み完了画面と受付番号が表示されます。申込完了後、出願内容確認に必要な受付番号の確認メールが送付されます。受付番号は必ずメモしてください。

※ 入学検定料のお支払前に出願内容の誤りに気付いた場合は、入学検定料を納入せずに、もう一度始めから登録をやり直してください。

※ 入学検定料支払い後の出願内容の訂正は出来ませんので、注意してください。

STEP 4

入学検定料の納入

画面に沿って、支払金額（手数料を含む）を確認の上、決済方法（クレジットカード、コンビニエンスストア、Pay-easy 利用の銀行決済等）を選択し、入学検定料の支払いを行います。なお、決済方法により手数料が異なります。

※ お支払い期限は、申込日を含め 4 日間です。（出願締切が 4 日より短い場合、締切が優先されます）

※ お支払い期限内に入金がない場合、お申し込みは自動的にキャンセルとなりますのでご注意ください。

※ クレジットカード決済利用時は、画面上で入力完了後メールが送付されます。

※ コンビニエンスストアでの支払い、Pay-easy 利用の銀行等決済の場合は、検定料支払い後に STEP5 に進めます。支払い後、再度ログインし手続きを進めて下さい。

※ 支払いが完了しないと、志願票・写真票、宛名票の印刷には進めません。

※ 入学検定料を納入し、出願書類を「簡易書留・速達郵便」で郵送することにより出願が完了しますので、ご注意ください。

STEP 5

志願票・写真票、宛名票の印刷

入学検定料の支払決済がシステム上で確認された後、志願票・写真票、宛名票の PDF ファイルが印刷できるようになりますので、A4 サイズで印刷します。



3

出願書類を郵送する

① 志願票・宛名票の確認

A4 サイズで片面印刷します。カラー・白黒は問いません。

万が一、登録情報に誤りがある場合は、二重線で消して赤字訂正してください。

② 出願書類の確認

必要な出願書類を確認してください。出願書類に不備があるものは受け付けません。

出願書類については、12ページを参照してください。

③ 郵送の準備

角2封筒に宛名票を貼付の上、宛名票のチェックリストにチェックを入れて、志願票・写真票と出願書類を封入してください。

万が一、郵送中に宛名票が破損したときの為に、封筒裏面に住所・氏名を記載してください。

※ 一般選抜【前期日程】・【後期日程】両方に出席する場合は、入試日程ごとに、封筒を分けて、各々に志願票と出願書類を封入して下さい。

④ 郵送

簡易書留・速達で郵送してください。

書類送付期限（日本時間）：平成30年1月31日（水）通信日付印（消印）有効で「簡易書留・速達」で発送してください。



4

受験票を印刷する

本学における書類審査終了後に、WEB 出願システムからダウンロードし、印刷します。受験票の郵送は行いませんのでご注意ください。

書類審査終了後、受験票の印刷が可能になったら、登録しているメールアドレスと WEB 出願システムのログイン後の画面で通知しますので、受験票 PDF ファイルをダウンロードし、A4 サイズで片面印刷します。カラー・白黒は問いません。

なお、受験票は試験日以降、再ダウンロードできなくなりますので、ご注意願います。印刷した受験票は、個別学力検査当日に必ず持参してください。

受験票は、試験区分ごとになっています。他の受験日のものと間違いのないよう、確認して持参してください。

個別学力検査期日の10日前までに通知されていない場合は、本学学務課学生係までお問い合わせください。

4. 出願書類

(1) 出願書類と作成要領

出願書類	作成要領
志願票（兼写真票） 及び宛名票	WEB 出願システムで必要事項を入力し、入学検定料納付後、ダウンロードし、片面印刷してください。（A 4、白黒・カラー可）
大学入試センター 成績請求票	<p>前期日程の志願票には、大学入試センターから送付された「平成 30 センター試験成績請求票」の「<u>国公立前期日程用</u>」を、後期日程の志願票には、「平成 30 センター試験成績請求票」の「<u>国公立後期日程用</u>」を所定欄に貼り付けてください。</p> <p>なお、大学入試センター試験成績請求票の再発行を受けた場合は、再発行後の成績請求票を提出してください。大学入試センター試験成績請求票を提出していない場合、又は指定のものとは異なる成績請求票を提出した場合、出願が無効となります。</p> <p>※ 大学入試センター試験の成績の複数年利用は行いません。</p>
調 査 書 (*)	<p>次の①～⑤のいずれかを提出してください。</p> <p>① 出身学校長が文部科学省所定の様式により作成し、<u>厳封したもの</u>を提出してください。</p> <p>② 高等専門学校第 3 学年修了者および文部科学大臣が高等学校の課程に相当する課程を有するものとして指定した在外教育施設の当該課程を修了した者の調査書については、文部科学省所定の様式に準じて作成したものを提出してください。</p> <p>③ 高等学校卒業程度認定試験（大学入学資格検定を含む。）合格者は、調査書に代えて「合格証明書」及び「合格成績証明書」を提出してください。成績証明書中、免除科目のある者は、当該科目を履修した学校長が作成した成績証明書も併せて提出してください。</p> <p>④ 外国において学校教育における 1 2 年の課程を修了した者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者、国際バカロレア資格取得者、フランス共和国のバカロレア資格取得者、アビトゥーア資格取得者、文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科を修了した者については、当該試験等の成績証明書を提出してください。</p> <p>⑤ 廃校・被災その他事情により調査書が得られない場合には、卒業証明書や成績通信簿の提出により代えることができます。被災等により、調査書・卒業証明書・成績通信簿等が提出できない場合には大学までご連絡ください。</p> <p>※ 調査書等は、上記の③を除き、平成 2 9 年 4 月 1 日以降のものを提出してください。</p>
前橋市の 住民票の写し	<u>入学に係わる経費</u> ：入学料で前橋市内居住者に該当する者は、提出してください。なお、配偶者又は 1 親等の親族が前橋市内居住者の場合は、本人との関係性が分かる書類を併せて提出してください。
出願資格認定書	出願資格審査において、出願資格認定書が交付された者は写しを添付してください。

* 調査書に記載されている氏名と現在の氏名が異なる場合は、戸籍抄本を添付してください。

(2) 提出方法

一般選抜【前期日程】・【後期日程】の両日程に出願する場合は、日程別に封筒を分けて、角 2 封筒に宛名票を貼付し簡易書留・速達扱いで郵送してください。

WEB 出願システムからダウンロードした「宛名票」を角型 2 号封筒に貼付してください。
 なお、宛名ラベルが破損したときのために、封筒裏面に出願者の住所・氏名を記入してください。

「宛名票」を貼付した角型 2 号封筒に、出願書類を封入してください。出願書類がすべて
 そろってない場合は、受理いたしませんので、十分注意してください。

書類出願期限を過ぎて到着したものは受け付けできません。

5. 出願先（宛名票記載済）

〒371-0816 群馬県前橋市上佐鳥町 4 6 0 番地 1
 前橋工科大学 学務課学生係 [1 号館 1 階事務局内]
 TEL 0 2 7 - 2 6 5 - 7 3 6 1

6. 入学検定料

(1) 入学検定料 17,000 円

※ 両日程に出願する場合は、日程別に入学検定料を納入してください。

※ 入学検定料支払い時に別途手数料がかかります。なお、手数料は入学検定料の支払い毎
 にかかります。

(2) 支払方法

WEB 出願システムよりクレジットカードによる決済、コンビニエンスストアからの納入、
 Pay-easy 利用の決済のいずれかを利用し、支払期限内にお支払いください。

使用可能なクレジットカード、取扱金融機関や注意事項は次のとおりです。なお、入学
 検定料の支払いが完了しないと、出願書類の印刷ができませんので、余裕を持って入学
 検定料をお支払いください。

支払方法／取扱金融機関	支払期限	その他
クレジットカード ・VISA ・MasterCard ・JCB ・AMERICAN EXPRESS ・MUFGカード ・DCカード ・UFJカード ・NICOSカード	お支払い期限は、申込 日を含め 4 日間です。 （出願締切が 4 日よ り短い場合、締切が優 先されます）	受験生本人の名義で なくても構いません
コンビニエンスストア ・セブンイレブン ・ローソン ・ファミリーマート ・スリーエフ ・サークルKサンクス ・ミニストップ ・デイリーヤマザキ ・セイコーマート		

支払方法／取扱金融機関	支払期限	その他
Pay-easy 対応銀行 ATM (ゆうちょ銀行も可) ※	お支払い期限は、申込日を含め 4 日間です。 (出願締切が 4 日より短い場合、締切が優先されます)	受験生本人の名義でなくても構いません
WEB 出願システム経由の Pay-easy ネットバンキング利用可能な金融機関		

※ 対象金融機関は、Pay-easy のサイトで確認してください。

(3) 注意事項

一旦納入された入学検定料は、どのようなことがあっても返還いたしません。

7. 出願手続上の注意事項

- (1) 入学を許可した後であっても、出願書類の記載と相違する事実が発見された場合は、入学を取り消すことがあります。
- (2) 出願受け付け後は出願事項の変更は認めません。ただし、氏名、住所、電話番号等に変更が生じた場合は、変更を証明する書類を提出していただく必要がありますので、本学学務課学生係まで連絡してください。
- (3) 一度受け付けをした出願書類は、どのような理由があっても返還しません。
- (4) 募集要項の内容に修正等がある場合は、大学ホームページに掲載しますので出願書類作成前と送付前に確認してください。
- (5) 試験会場は受験票で指定していますので、指定された会場で受験してください。指定された試験会場以外では、いかなる理由があっても受験できません。試験会場受け入れ定員を超えた場合、試験会場が変更となる場合があります。これに伴う受験の取りやめについては入学検定料の返還は行いません。
- (6) 国公立大学の前期日程試験に合格し、平成30年3月15日までに入学手続を行った者は、他の国公立大学(ただし、独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ)の中期日程又は後期日程試験を受験してもその合格者となりません。
- (7) 本学の入学手続を完了した者は、これを取り消して他の国公立大学への入学手続を行うことはできません。また、他の国公立大学の入学手続を完了した者は、本学への入学手続を行うことはできません。追加合格者についても同様です。
- (8) 大学入試センター試験受験票・写真票・成績請求票の再発行を受けた場合は、当初発行の受験票・写真票・成績請求票は無効となりますので使用しないでください。必ず、再発行されたものを使用してください。なお、成績請求票について、該当しないものやコピーしたものを使用した場合には、受理できませんので注意してください。

8. 受験票

受験票は、受験生本人が WEB 出願システムからダウンロードし、印刷します。受験票の送付は行いません。

- (1) 受験票は、WEB 出願システムを通じて、平成30年2月8日(木)に印刷可能となる予定です。試験前10日前になってもトップ画面で通知されていない場合は、お問い合わせください。
- (2) 受験票PDFファイルを各自でA4サイズで印刷し、試験当日に持参してください。
- (3) 受験票は試験日ごとに別ファイルになっています。間違いのないよう、確認して持参してください。

- (4) 受験票には試験室および集合場所は記載されていません。試験室は試験日当日掲示します。
- (5) 受験番号は志願者数を示すものではありません。
- (6) 受験票は試験日以降は再ダウンロードできなくなりますので、ご注意ください。
- (7) 万一、試験当日に受験票を忘れた者は、速やかに試験本部で仮受験票の交付を受けてください。

9. 障がい等を有する等の入学志願者との事前相談

本学に入学を志願する者で、障がい等を有する等、受験上及び修学上の配慮を必要とする可能性がある場合は、下記により出願前に必ず連絡し、相談してください。また、相談期限後に不慮の事故等により身体等に障がい等を有することとなった場合は、速やかに相談してください。

- (1) 相談時期 平成29年12月15日(金)まで
- (2) 相談方法 事前に連絡先まで電話連絡し、本学で定める相談申請書(住所・氏名・性別・連絡先・志望学科・障がいの症状及び状況・受験上、修学上特別な配慮を希望する事項・出身学校等で取られていた特別措置を明記してください)及び診断書等必要書類を添付し、提出してください。必要な場合には、本学において志願者又はその立場を代弁し得る関係者等との面談を行います。
- (3) 連絡先 P. 13「5. 出願先」と同じ

Ⅲ 受験上の注意事項

1. 試験場への入退場

- (1) 受験生は、両日程とも9時30分までに指定された試験室に入室し、着席してください。
- (2) 駐車場がありませんので、公共交通機関等をご利用ください。なお、前橋試験会場については、試験当日JR前橋駅南口より臨時バスを運行予定です。公共交通をご利用の方は、帰りの交通機関の運行時間等にご注意ください。
- (3) 指定された試験場、試験室以外では、いかなる理由があっても受験は出来ません。

2. 個人的事情による遅刻の扱い

- (1) 試験開始後、30分以内の遅刻に限り受験を認めますが、試験時間の延長は行いません。
- (2) 面接試験においては、開始時に不在であった場合には、欠席したものとして取り扱います。

3. 公共交通機関の遅延による遅刻者の扱い

- (1) 公共交通機関の大幅な遅延による遅刻の場合は、遅刻者の別室での受験を認めることがあります。試験場入口の係員に申し出て下さい。
- (2) 公共交通機関の大幅な遅延が生じ、試験当日多くの受験生に影響があると本学が判断した場合、試験実施に支障をきたさない範囲で、全体の試験開始時間を繰り下げることがあります。ただし、このことに伴う受験生の個人的損害について本学は責任を負いません。

4. 所持品

- (1) 受験票：試験当日は、大学入試センター試験受験票と本学の受験票の両方を必ず持参してください。本学の受験票は、白色のA4用紙で印刷して、必ず持参してください。試験当日は常に受験票を携帯する必要があります。また、受験票は入学手続きの際に必要となりますので、試験後も大切に保管してください。
- (2) 腕時計：各自で持参してください。**試験室に時計はありません。また、時計の貸出は行いません。**
- (3) 筆記用具等：試験当日は、筆記用具を必ず持参してください。詳細は下記参照。

<試験中に使用を認めるもの>

- ・鉛筆（黒「HB」「B」）、シャープペンシル（黒「HB」「B」） ・消しゴム
 - ・鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類は不可）
 - ・時計（辞書や電卓などの機能があるものや、それらの機能の有無が判別しにくいもの・秒針音のするもの・大型のものは不可）・目薬
 - ・マスク ・ハンカチ ・ティッシュペーパー（袋または箱から中身だけ取り出したもの）
- ☆ 総合デザイン工学科の前期日程の個別学力検査では、Bの鉛筆・鉛筆削り・消しゴム（練り消しゴムも可）を使用しますので、必ず持参してください。

<試験中に使用を認めないものの例>

- ・携帯電話、スマートフォン、タブレット端末、ウェアブル端末等の電子通信機器等
- ・携帯電話、携帯音楽プレーヤー等、音を発するもの
- ・時計やストップウォッチのアラーム機能や時報機能（これらの機能は試験前に必ず解除してください）
- ・定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む）・コンパス・翻訳機、電子辞書、電卓、そろばん
- ・ボールペン、赤ペン、色鉛筆、万年筆、色マーカーペン（蛍光ペン等）、付箋
- ・筆入れ（ペンケース）・耳せん 等

- (4) 昼食：一般選抜【後期日程】において、面接試験がある学科については、受験者数により面接試験の待機時間が長くなる場合がありますので、ご承知おきください。また、面接開始時間が午後になる場合もありますので、昼食の用意をお願いいたします。なお、昼食の販売は行いませんので、各自で準備してください。

5. 受験心得

- (1) 試験時間中は、監督者の指示に従ってください。不正行為を行った者は失格とします。
- (2) 受験票のほか、「試験中に使用を認めるもの」以外の所持品を机の上に置くことはできません。
- (3) 受験票は、試験時に試験監督の指示に従って明示できるよう、受験票の1ページ目が見えるように4つ折りし、机の上の受験番号ラベルの手前に置いてください。
- (4) 携帯電話やスマートフォン、スマートウォッチなどのウェアブル端末は、アラーム機能を止め、本体の電源を切って、かばんに入れ、身に付けないでください。机の上に置けないものは、かばん等に入れ、机の下に置いてください。なお、試験時間中にかばん等の中で音などが発生した場合は、監督者が本人の了承を得ずにかばん等を試験室外に持ち出

- し、試験場本部で当該試験時間終了まで保管します。
- (5) 座布団、ひざ掛けの使用を希望する場合は、試験開始前に举手し、監督者の許可を得て使用してください。
 - (6) 耳せんは、試験監督の指示等が聞き取れないことがあるので使用できません。
 - (7) 試験時間中に日常的な生活騒音等が発生した場合でも救済措置は行いません。
 - (8) 顔写真照合を行う際に、一時マスクを外していただくことが有ります。
 - (9) 公正な入学試験の実施を妨げるような行為があったと認められた場合、当該年度の本学におけるすべての入学試験において不合格とします。
 - (10) 試験時間中は退出することはできません。試験時間中に体調不良又はトイレ等により、やむを得ず退出を希望する場合には、举手をして監督者に知らせ、その指示に従ってください。ただし受験を中断した場合でも、試験時間の延長は認めません。
 - (11) 問題用紙および解答用紙を配付する試験では、用紙に記載してある注意事項をよく読んでください。
 - (12) 試験室における受験生間の物品の貸借は一切認めません。

6. その他

- (1) 試験当日に該当する試験を全科目受験しなかった者は、入学者選抜の対象から除きます。
- (2) 学生募集要項の受験上の注意のページについては印刷するなど、試験当日も確認できるようにしてください。
- (3) 本学では宿泊施設の斡旋はしておりません。
- (4) 試験会場及びその周辺で合格電報、レタックス等の受け付けを行う者がいても、前橋工科大学とは一切関係がなく、トラブル等が生じても責任を負えませんので注意してください。
- (5) 前橋試験会場は、試験日前日の午前に関り下見はできますが、建物内（試験室等）への立ち入りはできません。
- (6) 不測の事態等が生じ試験実施が困難であると判断した場合は、中止又は試験形態を変更する事があります。ただし、このことに伴う受験生の個人的損害について本学は責任を負いません。
- (7) 試験の実施に関して変更等がある場合は、本学ホームページに掲載しますので、試験前に確認してください。
- (8) その他必要が生じた場合は、後日通知します。

IV 合格発表

1. 発表期日

- (1) 前期日程：平成30年3月 6日（火）10時00分以降
- (2) 後期日程：平成30年3月21日（水）10時00分以降

2. 発表方法

本学1号館正面掲示板に合格者の受験番号を掲示するとともに合格者には、「合格通知書」及び「入学関係書類」等を速達で郵送します。また、合格者の受験番号は本学ホームページ (<http://www.maebashi-it.ac.jp>) で、発表の2時間後を目途に掲載しますが、合格通知書の送付をもって正式通知とします。不合格者には通知を行いません。電話等による可否に関する問い合わせには一切応じません。

3. 追加合格等

入学手続期間終了後、入学定員に欠員が生じた場合は、追加合格者を決定します。追加合格者には、平成30年3月28日(水)午前8時から入学志願票に記載された「携帯電話(本人)」又は「現住所(電話番号)」に連絡します。連絡が取れない場合は、追加合格者の資格を失います。既に他の国公立大学の入学手続が完了した者は、これを取り消して本学に入学手続を行うことはできません。

なお、追加合格により欠員を補充しても、入学手続完了者が募集人員に満たない場合、欠員補充第2次募集を行います。4月1日以降に欠員補充第2次募集を行う場合は、本学のホームページ (<http://www.maebashi-it.ac.jp>) に掲載します。

4. 情報開示

本学では、一般選抜【前期日程・後期日程】を受験し、不合格となった者のうち希望者に対し、「入試情報開示請求書」に基づき、次の情報を提供します。

(1) 請求できる者

受験者本人に限ります。(代理人請求は認めません。)

(2) 開示内容

- ① 一般選抜前期日程試験の個別学力検査等の科目別得点
- ② 一般選抜後期日程試験の学力検査等の総合得点
- ③ 大学入試センター試験の科目別得点のうち、合否判定に利用した科目を本学の配点に換算した得点

(3) 請求方法

下記書類を同封の上、請求先に郵送してください。

- ① 返信用切手(82円分)貼付の送付先が明記された長形3号の返信用封筒
- ② 「本学受験票」及び「大学入試センター試験受験票」の原本
(両受験票とも結果通知書に同封し、返却します。)
- ③ 入試情報開示請求書
本学ホームページ (<http://www.maebashi-it.ac.jp>) からダウンロードしてください。本学窓口及び郵送でも入手できます。郵送での入手を希望する場合は、113ページ「5. 出願先」までお問い合わせ下さい。

(4) 請求先

〒371-0816 群馬県前橋市上佐鳥町460番地1
前橋工科大学 学務課学生係

(5) 開示請求受付期間

平成30年4月16日(月)から4月27日(金)まで

(6) 通知

平成30年5月31日(木)をめどに発送します。

V 入学手続

1. 入学手続

(1) 入学手続期間

- ① 前期日程：平成30年3月15日（木）まで
- ② 後期日程：平成30年3月27日（火）まで

(2) 入学手続方法

- ① 手続の際、本学の受験票と大学入試センター試験の受験票が必要です。（手続完了後、返却します。）
- ② 手続書類の提出は、「郵送」又は「持参」により行ってください。
「郵送」の場合は、必ず簡易書留・速達とし、入学手続期間最終日の17時00分必着とします。「持参」の場合の受付時間は、平日の9時00分から17時00分までとします。

(3) 入学手続先

〒371-0816 群馬県前橋市上佐鳥町460番地1
前橋工科大学 学務課学生係 [1号館1階事務局]
TEL 027-265-7361

(4) 入学手続上の注意事項

- ① 期間内に手続を完了しなかった者は、入学を辞退したものと取り扱います。
- ② 必要な書類がすべてそろっていない場合は受け付けませんので、書類提出の際には十分確認をしてください。また、入学手続期間を過ぎて到着したものは受け付けませんので、郵送の場合には所要日数を十分に考慮して発送してください。
- ③ 「卒業（修了）見込み」で出願した者が、平成29年3月31日までに卒業（修了）できなかった場合は、入学許可を取り消します。
- ④ 入学手続完了後、やむを得ない理由で入学を辞退する場合は、至急本学に連絡し、平成29年3月31日【必着】までに所定の入学辞退届を提出してください。
- ⑤ 一度受け付けをした入学手続書類及び納入された入学料は、どのような理由があっても返還しません。

2. 入学に係る経費

[社会環境工学科 ・ 建築学科 ・ 生命情報学科 ・ システム生体工学科 ・ 生物工学科]

		金額	納入時期
入 学 料		282,000円	入学手続時
		141,000円 [前橋市内居住者] (注1、2)	
諸 経 費	後援会費	50,000円	入学前
	同窓会費	20,000円	
	災害傷害保険料	4,660円	
	学生自治会費	21,000円	
授 業 料	前期	267,900円	4月
	後期	267,900円	10月

[総合デザイン工学科]

		金額	納入時期
入 学 料		282,000円	入学時
		141,000円 [前橋市内居住者] (注1、2)	
諸 経 費	後援会費	50,000円	入学前
	同窓会費	20,000円	
	災害傷害保険料	2,760円	
	学生自治会費	21,000円	
授 業 料	前期	200,900円	4月
	後期	200,900円	10月

(注1) 「前橋市内居住者」とは、入学する者または配偶者もしくは1親等の親族が平成30年4月1日において引き続き1年以上前橋市に住所を有している者とします。

(平成29年4月1日から平成30年4月1日までの間、前橋市に住民登録がある者)

(注2) 「前橋市内居住者」として入学料を納入し、入学した者は、平成30年4月1日以降に取得した前橋市の住民票の写し(平成30年4月1日以降に転出した者は住民票の除票)を提出していただきます。なお、前橋市内居住者の条件を満たしていないことが判明した場合は、差額を納入していただくこととなりますので、ご注意ください。

※ 上記の額は、平成29年4月1日現在のものです。改定した場合は、改定後の額が適用されません。

また、教科書購入等のために別途費用が必要となります。

VI その他

1. 個人情報の取り扱い

前橋工科大学では、提出された書類及び入学試験の実施により志願者の個人情報を取得しますが、これらの個人情報については、関係法令を順守し、次の目的以外には利用しませんので予めご了承ください。

- (1) 入学者の選抜及び入学手続業務を行うために利用します。
- (2) 統計資料の作成や今後の入学者選抜方法の検討資料を作成するために利用します。
- (3) 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、指名、本学個別学力検査の受験番号、大学入試センター試験の受験番号、合否及び入学手続等に関する個人情報が独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。
- (4) 入学者の個人情報は、教務関係、学生支援関係及び授業料徴収業務関係の業務を行うために利用します。また、本学関連団体である前橋工科大学後援会、前橋工科大学同窓会及び前橋工科大学学生自治会において、各団体の運営に必要な範囲内で利用します。

2. 試験会場

(1) 前期日程

① 前橋試験会場：前橋工科大学（試験室等は当日に1号館正面掲示板に掲示します。）

〔群馬県前橋市上佐鳥町460番地1、TEL 027-265-0111〕

② 東京試験会場：河合塾麹町校〔東京都千代田区六番町1-3〕

③ 名古屋試験会場：代々木ゼミナール名古屋校

〔愛知県名古屋市中村区則武1-5-7〕

④ 仙台試験会場：河合塾仙台校ベリスタ館〔宮城県仙台市青葉区本町2-12-12〕

※ 試験会場②～④の緊急時連絡先は、前橋工科大学となります。

※ 試験会場注意事項

各②～④の志願者数が受入定員を超えた場合は、前橋試験会場で実施する場合があります。

(2) 後期日程

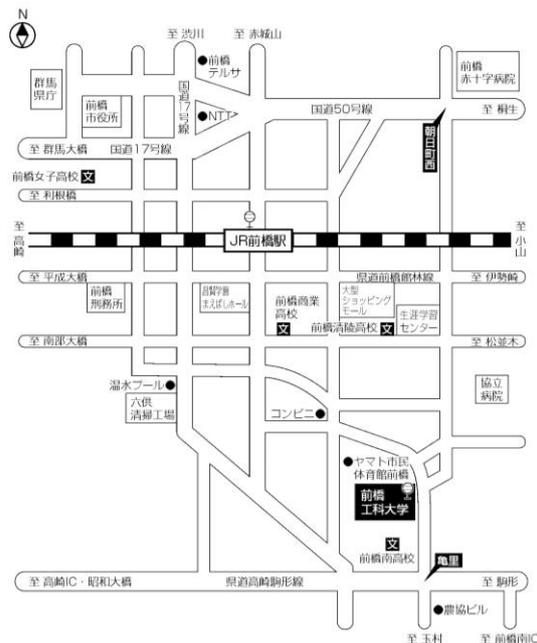
前橋試験会場：前橋工科大学

以下、各試験場の案内図

1 前橋試験会場

前橋工科大学【前期日程、後期日程】

群馬県前橋市上佐鳥町460番地1



(交通)

JR前橋駅 から

- ・バス(前橋工大前下車)、タクシーで約10分。
- ・徒歩で約30分。

※緊急時等の連絡先は、前橋工科大学へ(☎027-265-0111)

2 東京試験会場

河合塾 麹町校【前期日程のみ】

東京都千代田区六番町1-3



(交通) JR 総武線「市ヶ谷駅」徒歩3分

東京メトロ有楽町線/南北線/都営新宿線「市ヶ谷駅」3番出口 徒歩3分

JR 中央線/総武線「四ツ谷駅」麹町口 徒歩5分

東京メトロ丸ノ内線/南北線「四ツ谷駅」1番出口 徒歩6分

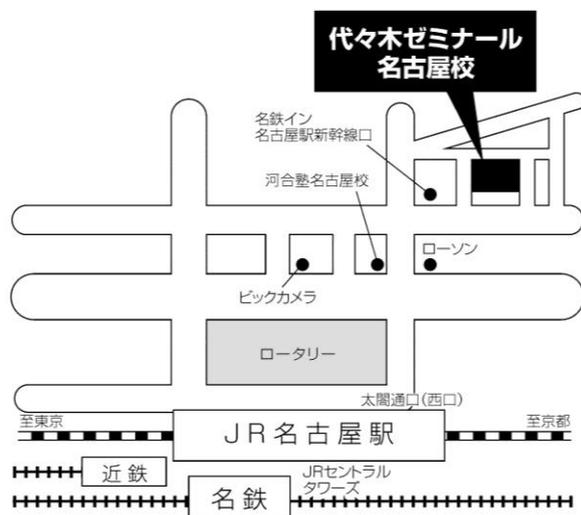
東京メトロ有楽町線「麹町駅」6番出口 徒歩2分

※緊急時等の連絡先は、前橋工科大学へ(☎027-265-0111)

3 名古屋試験会場

代々木ゼミナール名古屋校【前期日程のみ】

愛知県名古屋市中村区則武 1-5-7



(交通) JR名古屋駅 太閤通(西口) 徒歩3分

※緊急時等の連絡先は、前橋工科大学へ(☎027-265-0111)

4 仙台試験会場

河合塾仙台校ベリスタ館【前期日程のみ】

宮城県仙台市青葉区本町 2-12-12



(交通) JR仙台駅 西口 徒歩10分
JR仙石線「あおば通駅」出入口1 徒歩5分
市営地下鉄南北線「広瀬通駅」西1番出口 徒歩1分

※緊急時等の連絡先は、前橋工科大学へ(☎027-265-0111)

□ 前橋工科大学工学部 各学科の教育ポリシー

[社会環境工学科]

入学者受入方針(アドミッション・ポリシー) ～ 次のような学生を広く求めます。

① 教育理念

社会環境工学科では、社会資本の整備や自然環境の保全に取り組む土木・環境工学（Civil and Environmental Engineering）分野の技術者の養成を目指しています。

② 求める学生像

次のような学生を求めています。

- ・道路、河川、港湾、鉄道、都市施設の整備・維持管理方法、地震や大雨による自然災害から市民生活を守るための対策、種々の環境問題に関心を持っている。
- ・広くものづくりに関心が高く、自然現象や社会現象の調査分析・実験などを通じて自然科学や社会科学の原理原則を探究したい。

③ 評価の観点

公共の福祉についておもんばかる想像力、専門分野の技術者として備えるべき基礎学力、自らの問題意識を社会とのかかわりの中で活かすことを目的とした提案力を涵養するための基盤となる数学・英語・理科・国語等、特に数学・物理の基礎的学力を評価します。

高等学校等での修得すべき科目は、数学では、数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B（あるいは同等の科目）、理科では、物理（物理基礎を含む）及び英語で、入学時までこれら科目の内容を理解していることが望まれます。

「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）

社会環境工学科では、ディプロマ・ポリシーを達成するために、共通教育科目、専門教育科目（専門基礎科目、専門科目）に分けて、以下のカリキュラムを開設し、年次に従って実施します。

- ・1年次は、学習・教育到達目標の「想像力」に係わる項目を達成するために設けられた人文・社会科学科目や外国語科目等と専門教育科目、同じく「基礎学力」に係わる項目を達成するために設けられた自然科学科目と専門教育科目を学ぶ。
- ・2年次は、上記の学習に引き続きとりくむとともに、実習や演習を行う専門教育科目（専門基礎科目）をとおり、学習・教育到達目標の「提案力」に係わる項目を達成するための学習を始める。
- ・3年次は、専門教育科目（主に専門科目）によって学習・教育到達目標の「基礎学力」に係わる項目を達成するための学習に引き続きとりくむとともに、実験や実習をあつかう専門教育科目（専門科目）によって「提案力」に係わる項目を達成するための学習を積み重ねていく。
- ・4年次は、主に卒業研究にとりくみ、学習・教育到達目標の「提案力」に係わる項目を達成するための学習の総仕上げとする。

「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）

社会環境工学科では、所定の年限在学し、学科の教育理念・目的を達成するために開設した授業科目を履修して、卒業に必要な単位数を修得し、以下に示す能力を有すると認められたものに学士（工学）の学位を授与します。

- ・人類の持続可能な発展、技術と自然や社会との係わり合いを考えながら、自立した技術者として責任ある判断のもとに行動することができる。（学習・教育到達目標の「想像力」）
- ・社会基盤工学と環境工学に関する基礎を学び、この分野の技術者として備えるべき知識を身につけている。（学習・教育到達目標の「基礎学力」）
- ・自ら問題意識をもって課題に取り組み、その結果を社会との係わりの中で活かすことができる。（学習・教育到達目標の「提案力」）

[建築学科]

入学者受入方針(アドミッション・ポリシー) ～ 次のような学生を広く求めます。

① 教育理念

建築学科では、社会福祉や自然環境への配慮に加え、安全、健康、安らぎ、豊かさ等、文化的・芸術的な視点から建築と都市のデザインやマネジメントを推進する設計者と技術者の養成を目指しています。

② 求める学生像

次のような学生を求めています。

- ・ 科学、社会、技術、芸術等の広い分野に関心を持っている。
- ・ 建築や都市の企画・設計・施工・監理・マネジメント等に関わる業務に従事したい。

③ 評価の観点

広い視野と発想力、洞察力、問題発見能力、集中力、持続力、コミュニケーション力等の基盤となる数学・英語・理科・国語等、特に数学の基礎的学力を評価します。

高等学校等での修得すべき科目は、数学では、数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B（あるいは同等の科目）、理科では、物理（物理基礎を含む）及び英語で、入学時までこれら科目の内容を理解していることが望まれます。

「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー)

建築学科では、ディプロマ・ポリシーを達成するために、共通教育科目、専門教育科目（専門基礎科目、専門科目）に分けて、以下のカリキュラムを開設し、年次に従って実施します。

- ・ 1年次においては、教養科目で構成されている共通教育科目とともに、建築学の基本となる設計、計画、構造の基礎に関する専門基礎科目を学ぶ。
- ・ 2年次においては、1年次の専門基礎科目に加えて、建築学の基礎をより発展させた専門基礎科目のほか、建築設計、構造力学、建築計画、環境工学に関する専門科目について学び、建築設計者・技術者として必要な基礎知識を身につける。また、実習・演習科目を通して、自己表現力を身につける。
- ・ 3年次においては、専門科目を中心に学び、建築計画・意匠分野、建築構造・材料分野、建築環境・設備分野に分けて、学生が自主的に履修計画を立て、希望する専門分野の科目を履修する。また、実験科目を通して、問題提起・解決能力を身につけるほか、建築インターンシップでは、学外の企業で実務を体験することにより、倫理観や社会的責任を理解する。
- ・ 4年次においては、専任教員の研究室に所属し、卒業研究・設計に取り組むことで、技術論文のまとめ方、プレゼンテーション方法、討議の仕方などについて学び、大学教育の総まとめを行う。

「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)

建築学科では、所定の年限在学し、学科の教育理念・目的を達成するために開設した授業科目を履修して、卒業に必要な単位数を修得し、以下に示す能力を有すると認められたものに学士(工学)の学位を授与します。

- ・ 自ら発見した問題を、自ら調べ、自ら考えて解決する能力を身に付けている。
- ・ 学んだ技術や知識をもとに、柔軟に対応できる応用力を身に付けている。
- ・ 建築設計者・技術者として必要な基礎知識を持ち、記述能力、描画能力、ものを作る能力を通して、自分の考えを表現することができる。
- ・ 建築設計者・技術者として備えるべき倫理観を持ち、社会的責任を理解している。
- ・ 建築に関わる生活の豊かさ、人間の健康、地域社会、環境について考えた空間を創造することができる。

[生命情報学科]

入学者受入方針(アドミッション・ポリシー) ～ 次のような学生を広く求めます。

① 教育理念

生命情報学科では、生命現象を情報科学により分析・解明して人の健康・福祉に貢献し、情報科学を発展させて行くことのできる研究者と技術者の養成を目指しています。

② 求める学生像

次のような学生を求めています。

- ・プログラミング、システム、ネットワーク、物理、化学、生物等の広い分野に関心を持っている。
- ・将来生命科学（製薬、医療機器等）及び、情報科学（データベース開発、情報システム開発等）に関わる業務に従事したい。

③ 評価の観点

広い視野と理解力、問題発見能力、分析力、解決力の基盤となる数学・理科等の基礎的学力を評価します。

高等学校等での修得すべき科目は、数学では、数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B（あるいは同等の科目）、理科では、物理（物理基礎を含む）、化学（化学基礎を含む）、生物（生物基礎を含む）（あるいは同等の科目）のうち1つ以上及び英語で、入学時までこれらの科目の内容を理解していることが望まれます。

「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）

生命情報学科では、ディプロマ・ポリシーを達成するために、共通教育科目、専門教育科目（専門基礎科目、専門科目）に分けて、以下のカリキュラムを開設し、年次に従って実施します。

- ・1年次においては、共通教育科目を中心とし、生命情報に関する専門基礎科目も学ぶ。生命情報学科でもっとも重視しているプログラミングの演習は1年次から開始する。
- ・2年次においては、1年次で学んだ専門基礎科目を発展させた科目と、情報ネットワーク分野とゲノム情報分野に共通する専門基礎科目を学ぶ。
- ・3年次では、情報ネットワーク分野とゲノム情報分野に関する専門科目を学び、ゼミナールでは専任教員の研究室に所属して、卒業研究で扱う専門分野の基礎を勉強し、その分野の理解を深める。
- ・4年次の卒業研究では専任教員の研究室に所属し、与えられた研究テーマについて調査・実験・研究を進めながら、技術論文のまとめ方、プレゼンテーション技術、討議の仕方などを学ぶ。

「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）

生命情報学科では、所定の年限在学し、学科の教育理念・目的を達成するために開設した授業科目を履修して、卒業に必要な単位数を修得し、以下に示す能力を有すると認められたものに学士（工学）の学位を授与します。

- ・コンピュータ、データベースおよびネットワークシステムの仕組みと働きに関する基礎的な知識を有し、それらを活用することができる。
- ・分子生物学、ゲノム科学に関する基本的な知識を持ち、医療、製薬、農業などのバイオテクノロジーに関する最新の技術情報を理解することができる。
- ・基本的なプログラミングを行う能力があり、与えられた問題を解決するために必要なプログラムを作成できる。
- ・社会的に高い倫理規範を持ち、自らの知識を社会貢献に役立てようとする強い意思を持つ。
- ・文書、および口頭でのプレゼンテーションにより、アイデアを共有することができる。

[システム生体工学科]

入学者受入方針(アドミッション・ポリシー) ～ 次のような学生を広く求めます。

① 教育理念

システム生体工学科では、工学と医科学との融合分野における健康長寿の社会的ニーズの実現に向けて、生体に関する医科学の基礎と電気電子・機械・情報・計測制御等の工学基盤技術を学び、福祉や医療の分野で貢献できる技術者の養成を目指しています。

② 求める学生像

次のような学生を求めています。

- ・工学と医科学の学際領域で活躍できる技術者を目指している。
- ・生体工学・メカトロニクスなどの学問に興味があり、人々の健康・福祉に貢献したい。
- ・福祉や医療の機器・システムに関心を持ち、その設計開発を行いたい。
- ・自ら考え、学ぶ力を高め、社会的要請に果敢に挑戦する意欲がある。

③ 評価の観点

工学を学ぶのに必要となる数学・理科・英語・国語等の基礎的学力を評価します。

高等学校等での修得すべき科目は、数学では、数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B（あるいは同等の科目）、理科では、物理（物理基礎を含む）、化学（化学基礎を含む）、生物（生物基礎を含む）（あるいは同等の科目）のうち1つ以上及び英語で、入学時までこれらの科目の内容を理解していることが望まれます。

「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー)

システム生体工学科では、ディプロマ・ポリシーを達成するために、共通教育科目、専門教育科目（専門基礎科目、専門科目）に分けて、以下のカリキュラムを開設し、年次に従って実施します。

- ・基礎教育から専門教育へスムーズに移行できるように、低学年において、数学、物理、生物、語学など幅広い分野の知識を習得させ、工学基礎力を涵養する。
- ・システム生体工学に関連する学問を体系的に学ぶことができるように、共通の専門科目を設けるとともに、システム脳神経工学分野、生体情報計測分野、生体機能制御分野の3つの専門分野を横断する科目を開設する。
- ・専門教育では、専門科目の講義とともにプロジェクト型教育を行い、基本的な原理に対する理解を深め、課題探究能力や問題解決能力などの基礎力を養成する。
- ・専門のゼミナールと卒業研究では、それぞれの分野の専門知識をさらに深め、社会に貢献できる研究の方法を学ぶとともに、自由な発想と柔軟な創造力を養い、論理的思考能力やプレゼンテーション能力、およびコミュニケーション能力を養成する。

「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)

システム生体工学科では、所定の年限在学し、学科の教育理念・目的を達成するために開設した授業科目を履修して、卒業に必要な単位数を修得し、次の条件を満たすと認められたものに学士(工学)の学位を授与します。

- ・生体工学、メカトロニクス、情報科学を含むシステム生体工学に関する横断的な知識を有する。
- ・システム生体工学に関する問題の発見、分析、解決を主体的に取り組むことができる。
- ・健康・医療・福祉機器やシステムの設計・開発をはじめとする広い分野に応用できる基礎的な技術力を有する。
- ・技術者として、地域社会への貢献や技術を運用する責任と倫理について考えることができる。
- ・論理的思考能力、プレゼンテーション能力、およびコミュニケーション能力を有する。

[生物工学科]

入学者受入方針(アドミッション・ポリシー) ～ 次のような学生を広く求めます。

① 教育理念

生物工学科では、生物の多様な能力を食品の生産や医薬品をはじめとする有用化合物の製造、地球環境・地域環境の保全と浄化に役立てる知識を持った技術者の養成を目指しています。

② 求める学生像

次のような学生を求めています。

- ・ 動植物や微生物の示す様々な形態や生理現象の発現の仕組みに関わる化合物やタンパク質、遺伝子等について学びたい。
- ・ 食品が生体内で示す様々な作用の仕組みについて学び、健康の維持と増進等で、社会に役立てたい。
- ・ 地球環境の保全や汚染された環境の浄化・修復に生物の能力を利用するための知識や技術の修得に意欲がある。
- ・ 学んだことを生かして社会に貢献する意欲を持ち、積極的に勉学に取り組むことができる。

③ 評価の観点

自然科学、工学の知識を収集・理解し、情報や自分の考えを伝えるための基盤となる国語・数学・理科・英語等の高等学校等で学ぶ基礎的学力を評価します。

高等学校等での修得すべき科目は、数学では、数学Ⅰ・Ⅱ・A・B（あるいは同等の科目）、理科では、物理基礎、化学（化学基礎を含む）、生物（生物基礎を含む）（あるいは同等の科目）、国語（古典を除く）及び英語で、入学時までこれら科目の内容を理解していることが望まれます。

教職課程

生物工学科において、高等学校教諭一種免許状(理科)を取得することができます。

教職課程では、教育に対する深い理解と教職に対する強い情熱を持ち、教育の専門家として確かな力量を備え、総合的な人間力を持って生徒に援助ができる実践的指導力を兼ね備えた教員の養成を目指しています。

そのために、次のような学生を求めています。

- ・ 人と人とのかかわりを大切にでき、教育に関心がある。
- ・ 自然科学を総合的にとらえ、広く理解している。
- ・ グループワークにおいて目標を定め、協力しながらその目標を達成できる。

「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー)

生物工学科では、ディプロマ・ポリシーを達成するために、共通教育科目、専門教育科目（専門基礎科目、専門科目）に分けて、以下のカリキュラムを開設し、年次に従って実施します。

- ・ 1、2年次においては、教養科目から成る共通教育科目を履修するとともに、生物工学の基礎知識を習得するための必修科目である専門基礎科目を履修する。
- ・ 3、4年次においては、生物工学を応用した医薬品、食品、化学、環境産業などの研究開発の基礎となる専門科目を履修する。
- ・ 生物工学研究では、様々な事象を論理的に説明するための仮説を設定し、実証実験を繰り返しながら仮説の真偽を検証することが重要である。この観点から、講義による基礎知識の習得とともに、1年次は基礎生物工学実験Ⅰおよび基礎生物工学実験Ⅱを、2～3年次は生物工学実験Ⅰ～Ⅳを全員が履修して、仮説の証明のための基礎となる実験技術の基本を幅広く習得する。
- ・ 卒業研究は、専任教員の研究室に所属し、具体的な研究活動の体験を通じて、高度の実験技術を習得する。また、テーマの設定や文献調査、学術論文の作成法、プレゼンテーション方法、討議の仕方などの基礎を学ぶ。

教職課程

教職課程では、ディプロマ・ポリシーを達成するために、教職に関する科目、教科専門に関する科目、免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目に分けて、以下のカリキュラムを開設し、年次に従って実施します。

- ・教職に関する科目においては、1 年次に教職の意義等に関する科目、教育の基礎理論に関する科目、教職課程及び指導法に関する科目を履修させ教員として働く意義と担任としての心構えを学ばせる。
- ・2 年次では教育の基礎理論に関する科目、教育課程及び指導法に関する科目を学修させることで、理科を専門とする教員としての知見とその教授方法を身につけさせる。また、生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目では、生徒への接しかたや指導、教育相談についての方法を学ばせる。
- ・3 年次においては2 年次に引き続き教育課程及び指導法に関する科目、生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目を履修させる。さらに教育実習、教育実習事前事後指導を学修させて教員としての総合的な実践力を身につけさせる。また、その資質能力や進路に関する自己分析もさせる。
- ・4 年次は教職実践演習(高)において教職としての資質能力全体について振り返り、補充、深化をさせる。
- ・教科に関する科目では1、2 年次において物理、化学、生物、地学に関する総合的内容を学ばせ、自然科学の各分野を概観させる。また、基本的実験を通して講義で学んだ知見等を深く理解させ、実験技能を修得させる。
- ・3、4 年次では生物学、化学についての専門的科目を履修させ自然科学における生命科学、環境科学の分野の知見を深めさせる。また、科学的に探究する能力と課題解決能力を習得させる。
- ・免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目では、1－3 年次に日本国憲法、体育、外国語コミュニケーション、情報機器の操作の修得をさせる。

「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)

生物工学科では、所定の年限在学し、学科の教育理念・目的を達成するために開設した授業科目を履修して、卒業に必要な単位数を修得し、次の能力を有すると認められたものに学士(工学)の学位を授与します。

- ・生物に備わる機能と情報の仕組みを理解する能力を有する。
- ・様々な事象から問題点を見出し、その解決方法を論理的に考えることができる。
- ・バイオ、化学、食品等の関連産業における専門知識と実践技術を有する。
- ・技術者としての倫理に則り行動することができる。
- ・データや情報を集約して分析し、わかりやすく発表、説明することができる。

教職課程

教職課程では、所定の年限在学し、本課程の教育理念・目的を達成するために開設した授業科目を履修して、卒業に必要な単位数を修得し、かつ、教員免許取得に必要な授業科目を履修・修得し、次の能力を有すると認められたものは高等学校教諭一種免許状(理科)を取得することができます。

- ・教員として働くことの意義を理解し、教職への熱意をもっている。
- ・教科教育に対する専門的知見と技術を有している。
- ・社会人としての確かな見識と現場での実践力を備え、生徒への支援ができる。

[総合デザイン工学科]

入学者受入方針(アドミッション・ポリシー) ～ 次のような学生を広く求めます。

① 教育理念

総合デザイン工学科では、主に働きながら学ぶ意欲のある人を対象として、人々の暮らしを豊かにするためのデザインに求められる基本的な考え方と表現を修得していると共に、そのデザインを実現するための構造・材料・設備の知識や情報技術についても修得している専門技術者の養成を目指しています。

② 求める学生像

次のような学生を求めています。

- ・地域社会に貢献したい。
- ・デザイナー、建築家としての確かな基礎知識や技術を身につけたい。
- ・構造家、設備系技術者、情報技術者として活躍したい。
- ・基礎的な倫理観や教養、専門的な知識に基づく、独創的な発想力と問題解決能力を身につけたい。
- ・既に社会人であり、工学的専門知識を学び、将来的に仕事に活かしたい。

③ 評価の観点

専門的知識を学ぶのに必要となる数学・理科の基礎的学力、専門的な技術を身につけるのに必要とされる想像力・理解力・描写力・表現力、独創的な発想力と問題解決能力についての資質を評価します。

高等学校等での修得すべき科目は、数学では、数学Ⅰ・Ⅱ・A・B（あるいは同等の科目）、理科では、物理基礎（できれば物理も）及び英語で、入学時までこれら科目の内容を理解していることが望まれます。

総合デザイン工学科は、主として夜間および土曜日に授業を開講しています。

「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー)

総合デザイン工学科では、ディプロマ・ポリシーを達成するために、基礎教育科目、専門教育科目に分けて、以下のカリキュラムを開設し、年次に従って実施します。

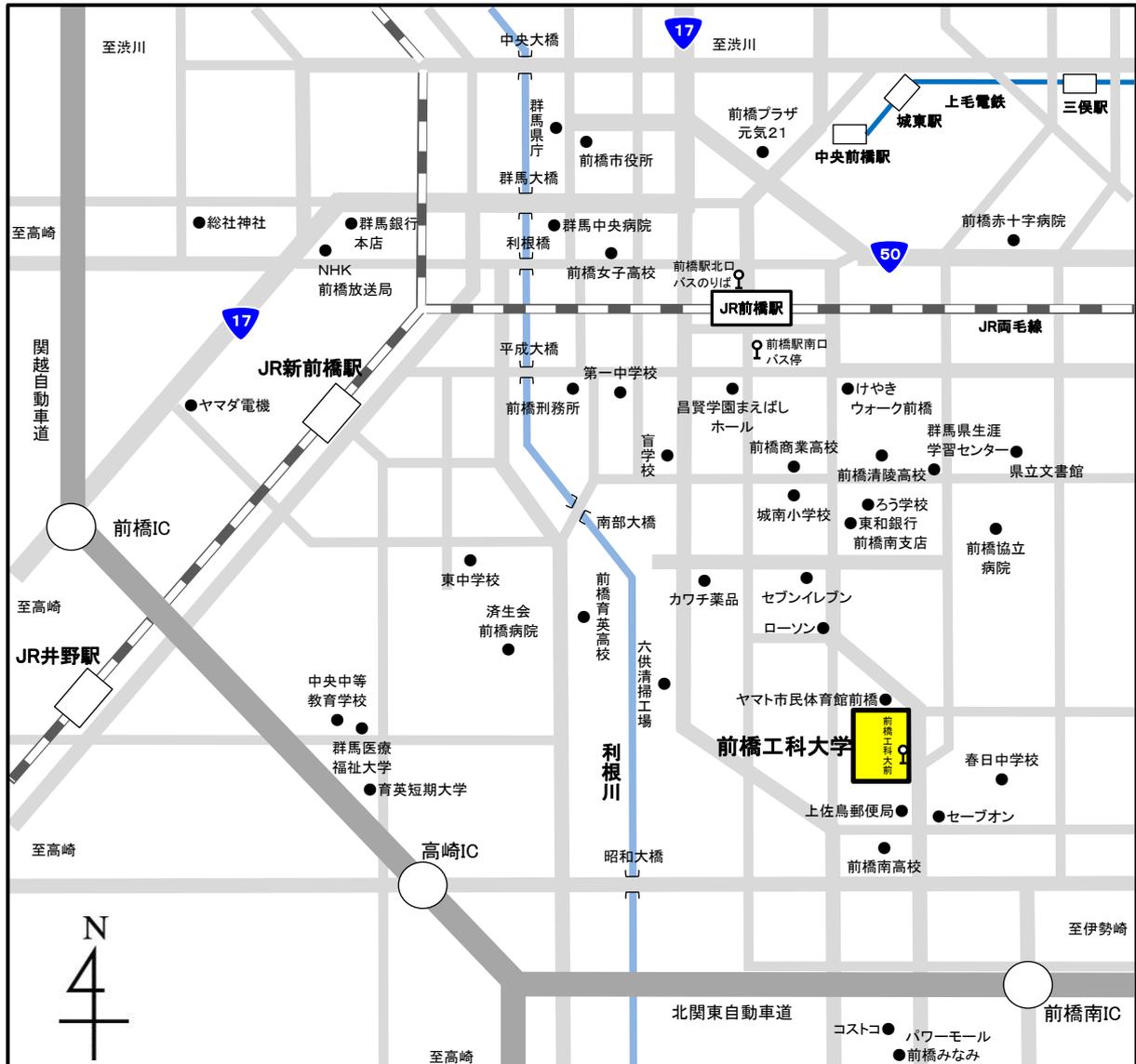
- ・1・2年次の自然科学系科目、人文・社会科学系科目および外国語科目では、既存の価値や社会の状況を多面的な視点から観察し問題を発見する能力を身につけるための学修をする。
- ・1年次の専門教育科目として、問題解決のための知識と実践の基礎的能力を修得するために、デザインに従事する人材が共通して必要とする、数理・情報、材料・構造、技術製図を学修する。
- ・2年次の専門教育科目では、授業科目を段階的に配置し、学生各自の関心に沿った科目を学修することで学んだ知識や技術を深化させることで、専門的工学知識をもとに、機能、造形と視覚を意識した発想力豊かなものづくりのできる能力を養う。
- ・3年次では、デザインについて学ぶ学生に対しては、プロダクトデザイン、建築・都市デザイン、情報デザインを知ること、そこに共通するデザインの基礎を学ぶとともに、創造のための思考力を養い、材料・構造について学ぶ学生に対しては、建築構造家、設備技術者、施工技術者として必要な知識や技術を修得させる。
- ・4年次では、卒業研究を通じて、問題発見から解決とその具現化を実践的に学修する過程の中で、コミュニケーション能力の向上を図るとともに、デザインの学修を継続的に行う能力を養う。

「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)

総合デザイン工学科では、所定の年限在学し、学科の教育理念・目的を達成するために開設した授業科目を履修して、卒業に必要な単位数を修得し、次の能力を有すると認められたものに学士(工学)の学位を授与します。

- ・既存の価値、社会の状況を多面的な視点から観察し、問題を発見する能力を身につけている。
- ・基礎教育科目とともに、数理・情報、材料、構造などの専門科目を学修することで、問題解決のための知識と実践の方法を修得している。
- ・専門的工学知識をもとに、発想を具現化する技術を持ち、造形と視覚を意識したものづくりを行うことができる。
- ・自らの考えや成果物を他者に伝達するとともに、他者の考えを理解するコミュニケーション能力を身につけている。
- ・考えや成果物に対しての客観的な評価を通して、デザインの学修を継続的に行う能力を身につけている。

前橋工科大学案内図



交通機関のご案内

バス JR前橋駅北口4番のりばから約10分「前橋工大前」下車
 〔永井バス：新町玉村線、天川原町経由下川団地線〕片道200円

タクシー 約10分

徒歩 約30分